

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 多機能型事業所 ぴっころ16

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標 |
|------------------|---|---|----|---------------|-----|----------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 利用児童の状況を踏まえ環境設定をしている | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | コロナ禍での出来る範囲で行なっている | |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 独自のアセスメントシートを使用し、把握している。 | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 週案を職員で設定している。 | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | | 固定化しないように心掛けていますが、利用のタイミングでは同じ内容になってしまう事がある。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 週案作成や長期休暇の受け入れ体制を設定している | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 朝礼を行ない、その日の児童や活動の確認を行なっている | |

| | | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|---|---------------------------------|--|
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 児童帰宅後に全体で反省を話している。 | |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 個別支援計画と照らし合わせながら記録を書いている | |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | ○ | | | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 関連機関を利用しているご家庭のみ連携している | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | | ○ | | 相談室を利用しているご家庭やニーズのあるご家庭のみ連携している | |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | | | 現在対象児童無し |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 2 | | ○ | | 相談支援事業所を利用しているご家庭のみだったため、保護者の同意を得ながら情報共有を行なう |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | | ○ | 現在対象児童無し |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | | | ○ | |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | | コロナ禍で開催がほぼ無し |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | | ノートや送迎時での口頭伝達を密に行なっている |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | | 必要な関わり方等は伝えているが、ペアレント・トレーニングほどの支援ではない |

| | | | | | | | |
|------------|----|---|---|--|---|-------------------------------------|---|
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 料金表も作っており、利用者負担額を案内している | |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | コロナ禍で出来る範囲(ノートや送迎時、お電話)で行なっている | |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | | 希望があるがコロナ禍での開催は未実施。今後は希望もある為、調整して行ないたい。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 契約や面談時に告知をし、要望に対する対応をしている | |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | | ○ | 児童の様子はHPに載せているが、行事予定は今後載せる予定で考えている | |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | | |
| | ③⑯ | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 適切なアドバイスや声掛けを行なえるよう職員間での情報共有を行なっている | |
| | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | | |
| 非常時等の対応 | ③⑱ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | | 年に2~3回程度開催 |
| | ③⑲ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | | |
| | ④① | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | | |
| | ④② | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | | 現在対象児童無し | |
| | ④③ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | アレルギーのある児童にはおやつや食事はご持参していただいている | |
| | ④④ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | | |

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 令和 3年 3月 1日

事業所名 多機能型事業所 ぴっころ16

保護者等数(4家庭)

回収数 3家庭

割合 75

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|--|------|---------------|-----|-----------|-----------|------------|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 100% | | | | ①～⑱全て記入無し | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 66% | 33% | | | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 100% | | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 100% | | | | | |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 66% | 33% | | | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 66% | 33% | | | | |
| 保護者 への 説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 100% | | | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか | 100% | | | | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 100% | | | | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | | 66% | | 33% | | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 66% | | | | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100% | | | | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 66% | 33% | | | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 100% | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|---|---|-----|-----|--|--|--|--|
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 66% | 33% | | | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 66% | 33% | | | | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 66% | 33% | | | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 66% | 33% | | | | |

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。